

グループ制覇、総合2位

AIR京都支部 2年連続の快挙



損害保険ジャパン(SJ)の保険商品を取り扱う整備工場のネットワーク、AIRオートクラブ京都支部(山本佳孝支部長)が、業務品質や活動の幅広さなどを競う2025年度年間表彰制度で、強豪支部がひしめくAグループを制す快挙を成し遂げた。全4グループ総合では2位。全国63支部の頂点に輝いた24年度に続く2年連続の上位入賞。写真=表彰式

認定制度や、分会活動、延長保証販売などのカテゴリーで高得点をたたき出すも、伏兵・佐賀支部にわずか2ポイント差で逃げ切れず、涙をのんだ。ただ、最上ランクのグループで並み居る強敵を抑え、戦い抜いた試合巧者ぶりは「十分評価に値する(関係者)」という。

山本支部長は「25年度のレギュレーションは、特に保険成績の面で京都支部に不利に働いたが、とにかくやり切った。私

ごとだが、メンバーにおも相当追い込んで頑張っている立場上、個人的にも相当追い込んで頑張った」としている。

感謝のマルシェ出展

ドライブブドア創業20周年

ドライブブドア(左京区、北村文孝社長)は5月17日、宝ヶ池公園北園(左京区)で開催された「岩倉マルシェ」にブース出展し、多くの来場者らでにぎわった。

2016年に始まった岩倉マルシェは、地元のお店や事業所が中心となり、定期開催しているイベント。ドライブブドアに勤務する従業員の望月まどかさんは、実行委員の一人でもある。

今年で10年目を迎えたイベントには、キッチンカーやフード店、物販店、体験型コーナーなどを展開する47の事業者らが参加。また、メイנסテージでは、ダンススクールやチャッククラブ、地元

中学校の吹奏楽部などが登場し、演奏や演技を披露した。

一方、ドライブブドアは今年が創業から20年の節目の年。地域に支えられてきた感謝の思いを込めて、マルシェ出展企業中で最大面積を誇るブースを貸し切り「ドライブブドアビレッジ」をオープンした。

ブース内にはジムニーノマドや新型ムーヴ、軽キャンピングカーを展示したほか、農園栽培の野菜をはじめ、焼き菓子や苔玉、健康食品などを販売。さらに、バルーンワークショップ、お菓子のつかみ取りなど合計10コーナーを設けた。

各コーナーを企画、運営したのは、いずれもドライブブドアと取引や関わりがある事業者、団体など。農園、造園事業者、バルーンショップ、イラストレーター、楽器店、大学ボランティアサークルらが、趣向を凝らした出展で、子どもから大人まで幅広い年代の来場者をもてなした。

北村社長は「地域の皆さんと取引先があつてこそその当社。来場者にも出展者にも楽しんでもらえる場になったのでは」とし、関係者らへの日頃の感謝を述べた。



岩倉マルシェのブース内

F612-0029

国交省講師にセミナー

コグニティブな近畿合同会社
コグニティブジョン社製見
積もりのソフトのユーザー

セミナーで多田氏は「約3万工場あるといわ

399件の事例をもとに引き続き損保会社の指導にあたっていく考えを明らかにしたほか、労務費の価格転嫁を工賃単価に

し、「情報提供窓口の設置と損保との対話、同指針、標準作業時間の調査」が三本柱」との見解を示した。

壇上で奈良コグニティブの総額減額交渉などに言及した。

山口浩三会長は「損保や

の在り方、初期見積もりの総額減額交渉などに言及した。